



MJとは、マザージャーナリズムの略。お母さんの視点で社会を見るという意味です。

http://www.okaasan.net/



お母さんな娘

娘、2歳10か月。息子が2歳のときと天と地の違いに毎日、驚かされる。女の子の2歳がこれほどオトナとは思ってもみなかった。



お兄ちゃんが、牛乳を残して遊んでいれば「すぐ、残すんだから〜」。私がドアを開けっ放しにしておくで「またかよー」。毎晩、娘と同じ布団に寝ていたが、突然、隣の布団を指して「あっちで寝る」。「え〜お母さん寂しいな〜」と言うと「寂しくないよ〜見てるからね」と娘。おもむろに布団に入ってきて私の背中をトントンし始めた。母は、ホントに寝ちゃいました〜。もう気持ちよくて。

どうやら保育園でも友だちをトントンして寝かせているらしいんですね。母のように、私をやさしく抱っこしてくれた娘よ、ありがとう。2歳でも、しっかり母性はあるんですね。

保育園のお迎えで会ったお母さんは「いつもみーちゃん、お母さんしてるよ」って。朝、ママとの別れ際に泣いている子に「いい子、いい子」して抱っこして、まるでお母さんだって。

たまたま会ったおばあちゃんは「いつもお世話になってます」って娘に挨拶する。何をお世話しているのでしょうか…。どうやら私が知らないところでも、「お母さん」している2歳の娘。

もちろんすごいパワーでヤダヤダ病を発症することも多々ある。だってまだ2歳ですもの。泣いている娘に「もう赤ちゃんなんだから」なんて言おうものなら「赤ちゃんじゃない! お母さんだよ!」と言い返してくる。

でもね、そんなに早くオトナになられちゃ、こちらがツマリマセン。ゆっくりゆっくり、お母さんへの階段を昇ってください。

(内田恵利/横浜市)



お母さんの笑顔

昨日は何だかとても忙しい日だった。あちこち駆け回ったせいか、身も心もちょっと疲れ気味で、ふとため息をもらしてしまっただけ…。



すると、次男イブ(小1)がお風呂に入る前、唐突にこう言った。「イブ、世界で一番お母さんの笑顔が好きやねん!」「えっ!?」と思わず聞き返すと、「だから、お母さん疲れとったらお手伝いするわな」と。

その言葉にハッとし、私、よっぽど疲れた顔してたんだろな〜って、ちょっぴり反省。

その後、お風呂で次男の頭を洗いながらしゃべっていたとき。私が笑ったら、「あっ! 目つぶってしもた! お母さんの笑顔見たいのに!」と慌てるので、これまたびっくり! その本気の子がかわいくて、また笑ってしまった。

そして、シャンプーを洗い流した次男は目を開け、2人で顔を見合わせてニコリ。子どもってすごいな〜。すっごくありがたい。

日々の生活に追われ、いろいろ面倒なことがあると、笑顔を忘れてしまうこともある。私は子どもの笑顔が大好きなのに、自分の笑顔のことはすぐに忘れちゃう。子どもはこんなにもお母さんの笑顔が好きでいてくれるのに。それは、頭で計算されたものではなく、ただただ純粋に笑顔が大好きなのだ。それに、きっとみんな、どんな人も、どんな子も笑顔が大好きなはず。しんどいときもあるけれど、ちょっと口角を上げてニコッてできたら、きっと大好きな顔になっているのかな? 私世界で一番子どもたちの笑顔が好き! みんなの笑顔も大好き!

(ふじおさおり/神戸市)



雨の月曜日

昨夜降った雨が上がり、陽が射してきたかと思っただけの間。また降り出してしまった。洗濯物を干そうとした矢先だったので、鬱々とした気分で朝の片づけをする。



ふと気づくと、子どもの泣き声。開け放した窓から聞こえてくる。はす向かいのお宅の坊ちゃんかしら。泣き声はだんだん激しくなるばかり。そのうち、それがただ泣いているばかりでないことに気づく。何か、訴えている。「うおんうおん、いいいう〜うおんうおん、いいいう〜。ん? なんて言ってるのかなあ。つい耳を澄ます。「わんわん、みにいく〜」。

そうか! ご近所に、外で犬を飼っているお宅がある。人懐こくて、散歩する人みんなに愛想を振りまき、犬好きの人には撫でてもらったりしている、あの犬のことかな? 「そう、ワンワン見に行きたいのね」、つい口に出てしまって、クスリとする。

この時間、小さいお子さんのいるお母さんは、まだ片づけに追われていることだろう。それに、この雨。足元もおぼつかない小さい子を連れて外に出るのは、わずかな軒先とはいえ、ちょっとためらっちゃうかな。わが子が小さかった頃の事を思い出しながら、猫の世話をし、片づけを一段落させると、開け放した窓から聞こえてくるのは雨の音ばかり。

泣いていたあの子はもうどうだろうか? 願い叶って、犬を見に行けたかな? それとも泣き疲れて寝てしまったかな? そんな1週間の始まりの朝…。

(佐藤るみ/横浜市)



おお雨とちいさい雨

「おかあさ〜ん! いまあめふってる?」。夕方からせせと「トーマス紙芝居」の制作に勤しんでいた年長のボウス。作業の手を止めず、机に向かったまま唐突に聞く。そういえば、ベランダの窓から、雨の匂いと湿って少し重くなった空気が入り込んできていた。妻が夕食の Pasta をゆでながらチャラッと窓越しに外を見て、「うん、降ってるよ」。



「おお雨? それとも小さい雨?」。「小雨」と言いかけた妻が、「ちいさい雨よ」とうれしそうに返事した。

(福田博規/茨木市)

食事のしつけ、わが家の場合…

信子あさの大家族日記

岸信子(宇土市)

苦手なのは講演後の質問コーナー。「一日にお米はどのくらい炊くのですか?」という質問なら、「朝8合、夜9合です」と簡単に答えられるけれど、子育ての悩みに一言で答えるのは難しいです。いえ、私には無理です。私は教育の専門家ではありませんし、こすれば子どもがよくなります! というノウハウを習得しているわけでもないです…。だから、質問コーナーで答えるときは、あくまでも、自分の体験だけを話すようにしています。昨日の幼稚園での講演会、「子どもがちゃんと座って食べない」という、若いお母さんの悩みでした。落ち着きがなく、食事に集中しない、と。この質問、実はよくあります。そして、たぶん私の答えが参考にならない質問の一つだと思います。最初の子ども・英智が小さかった頃、団地に住んでいたわが家では、畳にちゃぶ台を置いて座って食事していました。英智は一口食べると、立ち上がってちゃぶ台の周りを一周走り、また座って一口食べると、立ち上がってちゃぶ台の周りを一周走る、という食べ方をしていました。そう、お行儀が悪かったのです。私は下の子におっぱいをあげながら、「ひでくん、座って」と声をかけますが、夫は「そのうち疲れるよ」と笑っています。英智は楽しそうでした。夫や私の周りを走りながら、にこにこしています。「走りたいくらい楽しいことがあるだろう」と夫は言いました。何周か、いえ何十周か走ると、満足したようにテーブルの前に座るのですが、食事のたびに英智はそうやって走っていました。でも、大人になった今も走っているわけでは、もちろんありません(笑)。立派な大人になりました。いつ走るのをやめたのか覚えていないくらいごく自然に、英智は、ちゃんと座って食事するようにになりました。走り回っていたのは、ほんの一時期でした。ドアをパタン!と閉めて、廊下を走っていく子どもたち。「ドアは静かに閉めなさい! 廊下は走らないの!」と思うけれど、一方で私はこうも思うのです。ドアを下に閉めて、落ち着いて、ゆっくりと廊下を歩いてなんかいられないくらいに、子どもたちには楽しいことがいっぱいなんだろうなあ、と。



写真は、子どもが3人だった頃 ●プロフィール 1983年に結婚後、7男3女に恵まれ、家事・育児をこなす傍ら、子どもたちとの日常を描いたエッセイや童話が多数公刊入選。

お母さん 業界人 100万人の夢

夢を描いているお母さんの周りには、笑顔がいっぱい。みんなで夢を描きましょう。

- 465 大学に入り直して獣医師になりたい/センドリコ(イギリス) 466 お母さんが楽しく子育てのできる環境づくり/りん(大阪府) 467 現代にマッチした良妻賢母になること/オレンジ・スマイル(福岡県) 468 森の中で子どもたちと共に心豊かに育っていききたい/かうり(岐阜県) 469 家族でスキューバーダイビング/えんちゃん(千葉県) 470 フラダンスをもっとうまく踊りたい。いつかフルマラソンに挑戦したい。字幕なしで映画を観たい。居心地のいい、あたたかい家庭をつくりたい/つかちゃん(東京都) 471 自分で事業を起こしたい/cinabon(大阪府) 472 大家族!/ノームのおうち(神奈川県) 473 子どもと一緒に車でヨーロッパを縦断!/大園茂樹(神奈川県) 474 余生を笑顔に囲まれて暮らしたい/しゅん(神奈川県) 475 娘2人を世の中に出してもおかしくない人間に育て上げたのち、本格的にアクセサリ制作をしたい。癒しと学びのスペースをつくりたい/ayako(埼玉県) 476 助産師としてマタニティヨガやコーチングを勉強し、妊娠・出産・育児のサポートをしていきたい。子どもといろんなことにチャレンジしていきたい/seikouta(神奈川県) 477 教師/はとり(長野県) 478 日本一の写真を撮ること。大自然の中でサムシング・グレートを感じること/桜爺(神奈川県) 479 女性のキラキラした笑顔が世の中に蔓延すること/hika(神奈川県) 480 薬剤師になりたい。フランスに留学したい。趣味の写真撮影ももっともっと。まずはのびのびした元気なお母さんになること/おしお(神奈川県) 481 森のようちえんか自主保育を立ち上げたい。老後も今も、夫と仲良く暮らしたい。将来は、4人の子の母として養護教諭に復職したい/ヒルネ(茨城県)

夢に届くお母さんにプレゼント!



キリン一番搾り

●提供:キリンビール(株)横浜支社 夢を宣言し、夢に向かってがんばっている自分にカンバイ! 夢を描き、お母さん大学に入学してくれた、20歳以上の方の中から抽選で1名様に、キリン一番搾り(350ml 缶 24本入1ケース)をプレゼントします。 ※飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に影響を与えるおそれがあります。お酒は楽しく、ほどほどに。

夢のプレゼント当選者



平凡な家族の幸せを永遠に 小口由紀子さん/川崎市・28歳 わが家はパパ、ママ、4歳半のはる。2か月半のけいの4人家族。夢は、家族が皆、ずっと元気で笑顔でいられること。「おはよう♪」って太陽が昇り、パパが「いただきます!」って会社へ出かけ、目をこすりながら起きたはるちゃんが、アウアウと起きてたけいくんに「おはよう」ってなでなでしてる。この幸せが、永遠に永遠に続きますように。